

このコーナーでは、九州一の安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



防災リーダー養成講座
市民 100 人が防災を学び
防災リーダーに



西諸広域事務組合消防本部の救急救命士の指導のもと、AEDの使用法など救命措置を学ぶ受講者

2月17日、小林市民防災リーダー養成講習会がありました。受講したのは、市民など100人。受講者は、市の防災への取り組み状況、気象の仕組み、救急救命法や防災士の指導によるロープワークなど防災に関する基礎知識を学びました。その後、受講者には認定証とバッジが交付され、防災リーダーとしての自覚を新たにしていました。防災リーダー養成講座は、今後も実施していきます。ぜひ、受講ください。



西諸広域防災訓練
新燃岳噴火を想定し
初めての西諸広域防災訓練

新燃岳噴火から2年を迎えた1月27日、噴火を想定した西諸広域防災訓練が、ひなもり台県民ふれあいの森で行われました。西諸広域事務組合消防本部をはじめ、西諸2市1町の消防団、警察や西諸医師会などから約140人が参加。倒壊した家屋に取り残された人の救助訓練や負傷者のトリアージ訓練が行われたほか、西諸地区生コンクリート事業協同組合が生コン車で水を運送しての消火訓練などが行われました。



今回の訓練は、詳細を参加者に知らせず、より実践的な内容で行われました



市民活動支援センターからのお知らせ
小林市市民活動支援センターをご利用ください。



市民活動支援センターの機能の一つとして、市民活動グループ・地域団体（NPOやボランティアグループなど）の交流を深めるお手伝いをしています。

昨年、会議室を利用して「異業種交流会」が開かれました。そこに集まった皆さんの中で新しいつながりができ、今まで単独ではできなかった活動に協力してくれるグループと手を取って動き始めたという例もあります。

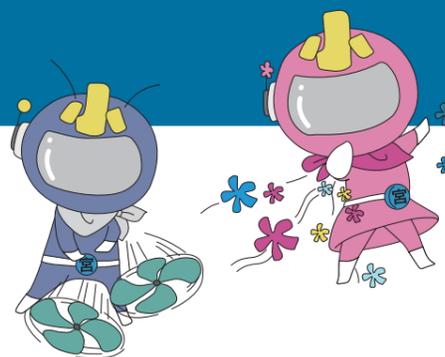
市民活動は、自分たちの活動をより多くの人に知ってもらって発表の場を持つことや、積極的に協力し合えるグループを見つけることも、活動の幅や質を高めることにつながります。

市民活動支援センターを大いに活用して、自分たちの活動に役立つ情報や仲間を見つけ、活動を楽しめるものにしていってください。

◆ 問・NPO法人エコワールドきりしま
TEL 27-3177 (担当: 迫尾)

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

小林戦隊
リアゲルンジャー も応援。



こばやし協働

Info & News

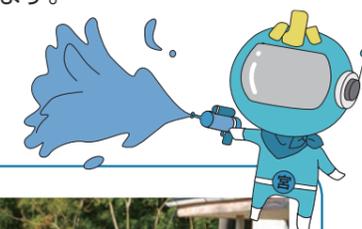
インフォ アンド ニュース

このイラストは、小林高校1年生 海蔵楓寧さんが小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然（花、星、水、虫）がモチーフになっています。

小林戦隊
リアゲルンジャー



西小林中学校区で避難訓練
地域住民が参加して、防災の理解を深め
大規模災害に備える



1一時避難し、地域の避難困難者などを確認2地図に避難経路や危険区域などを書き込む3防災士によるロープワーク講習4非常持出品の重さを体験。男性は10kg、女性は7kgが目安5非常持出品でビンゴゲーム6水を使った非常食7清水准教授が情報の入手方法などを説明



2月10日、西小林中学校区で避難訓練が行われました。第1部は、震度6弱の地震を想定した避難訓練。地域住民は、午前9時に地震が起きたと想定し、最寄りの避難所に避難しました。その後、区・組長らが地域の避難困難者や各戸の非常持出品の有無などを集計。1部では950人の参加がありました。西小林地区体育館で行われた第2部に

は、各区の代表、消防団員など110人が参加。宮崎大学清水 収 准教授や一般社団法人みやざき公共・協働研究会の協力のもと、避難訓練の講評、避難経路や非常持出品の確認などが行われました。清水准教授はインターネットで気軽に危険区域が確認できることを説明し、「情報を得ることで、日頃から防災に関心をもってほしい」と講評しました。